

授業科目 臨床栄養学 I

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	健康
永井 徹		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
<p>栄養素の代謝と作用は、病気の予防および治療において重要である。臨床栄養学 I は、臨床栄養学 II、臨床栄養学 III、臨床栄養学実習、臨床栄養管理演習と続く一連の科目と位置づけられる。</p> <p>食物や栄養に関連する科目および一般臨床医学関連科目に結びつけて理解する。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病に関して病理学や内科学で学んだ知識を確実にし、基本的医学用語の意味や概念を説明できる。 2. 疾病の予防および治療における臨床栄養学の位置づけと現状を修得する。 3. 主要な臨床検査値について、その目的や意義の説明と結果の解釈ができる。 4. 生活習慣病を中心にして、種々の疾患における食事療法の意義と概略を理解する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	臨床栄養学総論			1	講義
2	栄養ケア・マネジメントの定義と構造			2～4	講義
3	栄養スクリーニングとアセスメント（臨床診査および臨床検査）			2～4	講義
4	栄養スクリーニングとアセスメント（身体計測）			2～4	講義
5	食事療法と栄養補給法（経口栄養補給法）			2～4	講義
6	食事療法と栄養補給法（経腸栄養補給法）			2～4	講義
7	食事療法と栄養補給法（経静脈栄養補給法）			2～4	講義
8	栄養ケアの記録			2～4	講義
9	栄養障害（蛋白質・エネルギー栄養障害および肥満）			2～4	講義
10	代謝疾患（糖尿病 1）			2～4	講義
11	代謝疾患（糖尿病 2）			2～4	講義
12	代謝疾患（脂質異常症 1）			2～4	講義
13	代謝疾患（脂質異常症 2）			2～4	講義
14	循環器疾患（高血圧）			2～4	講義
15	まとめ			1～4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床栄養学	中村丁次、小松龍史 他	南江堂	2014・3,800円＋税
参考書		改訂第4版病態栄養ガイドブック	日本病態栄養学会編	メディカルレビュー社	2013・3,500円＋税
その他の資料		糖尿病治療ガイド2012～2013	日本糖尿病学会編 他	文光堂	700円＋税
		高血圧治療ガイドライン2009	高血圧学会ガイドライン 作成委員会	日本高血圧学会	2009・2,500円＋税
		脂質異常症治療ガイド2008	日本動脈学会	協和企画	2008・1,000円＋税
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、レポート、期末試験から評価		講義で学んだことを整理し、復習する。			